



# 社会新報 (岡山版)

2022年9月1日

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)  
〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17マルキ複合ビル5F  
TEL.03-3553-3731 1部 〒168円・月720円

(立憲主義・民主主義)

岡山市北区辰巳22-103 Tel. 086-242-5510  
http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html

発行責任者 武本恒夫

e-mail : shamin\_okayama@fancy.ocn.ne.jp

## 「国葬」に反対する 岡山県民集会

2022/9月11日(日)

10時：石山公園で集会

岡山市石関町7

☆プログラム

■各団体からのアピール

■集会アピール提案

11時：デモ行進 石山公園から  
岡山駅前まで

【お願い】帽子、日傘、お茶など、暑さ対策を！  
コロナ感染防止の対策も！

「国葬」反対へ、思い思いのメッセージボードを  
掲げてアピールを！

☆法的根拠なしの「国葬」？

☆安全保障関連法(戦争法)の強行採決！

☆モリ・カケ・桜など、政治の隠ぺい・私物化！

☆国会議論もせず、閣議決定のみで強行？

「国葬」に反対する岡山県民集会 実行委員会  
事務局 「立憲主義と地方自治を守る議員の会」

皆さんが当事者ならどうか、紙面のなかに消えたか、後、どうなったか、その客から拍手が起きた。そのもとした船の汽笛に、観光でも、かつての風情を取り避けての行動だった。それ時刻・航路を熟知し危険を動いた。もちろん、運行をならすことを知っていた。一人の女性が湖で泳ぎたいと、えた汽笛を取り戻したいと、命を背負わされる、と厳しく問いかける▼「あやまちはくりにかえしませぬから」の碑の前で、今一度「当事者」として考えてみよう。(i女の新聞8/10・25参照)の

### 定例学習・読者会

「新報」読者会

9月13日(第2火) 18時

辰巳「時事問題懇話会」

9月30日(月末金) 18時

※コロナ状況により変更あり  
いずれも辰巳・新事務所

一案内

「国葬」反対県民集会  
9月11日10時石山公園

9/15(木)「国葬」反対街宣  
9/28(水)社民党定例街宣  
18:00マツキヨ前

9/24(土)  
市民と立憲野党合同街宣  
17:00マツキヨ前

社民党サポーター募集中  
年会費1000円オンライン申し込み→  
https://sdp.or.jp/sdp-supporter/

7月の党定例街宣は、原水禁・非核平和行進・広島引継ぎ参加のため休みでしたが、8月再開です。党県連合は、8月10日の岸田改造内閣についての

### 岸田政治の危険な流れ



### アベ政治からの脱却

は中止すべきと訴えた。アベノミクスが生んだ貧困と格差は繕いようがなく、岸田政権は、「分配強化」の「新しい資本主義」を掲げざるを得なかった。それもすぐに配分強化から資産

談話で「コロナ対策、経済対策の行き詰まり、また旧統一教会と政治との関与など、ほころびを縫い、疑惑隠しの内閣改造」と断じた。さらに8月24日の党の定例街宣では、法的根拠のない「国葬」で、評価を二分する安倍政治の賛美・礼賛を強要することは思想信条の自由に違背し、「国葬」

倍増に変わる。安倍政治の評価は矛盾に陥るしかない。また、モリ・カケ・サクらの公文書改ざん、隠ぺいなど、政治の私物化を国民は忘れてはいない。

8月27日には、継続を確証した市民と立憲野党の合同街宣を開催。参加の市民・団体、政党がマイリレーで、旧統一教会と政治の関与の有無の解明や内心の自由を拒む訴えした。



### 党県連合活動日誌

- 8/10 内閣改造についての談話
- 8/13-15 党県連合お盆休み
- 8/16 「国葬」反対行動打合せ(野崎)
- 8/18 書記局会議
- 8/20 党県連合常任幹事会  
岡山市平和推進協運営委(武本)
- 8/22 党宣伝カー(岡山)
- 8/23 「国葬」反対集会実行委員会(武本)  
さよなら原発実行委( )
- 8/24 党定例街宣
- 8/25 党宣伝カー(倉敷)
- 8/27 市民と立憲野党合同街宣 マツキヨ前

### 前

広島市長の秋葉忠利さんが、ある機関紙でウクライナ軍事侵攻と日本の取るべき態度を語っている。その一つに、日本も攻められないように「核共有」とか、改憲し、軍事力の倍増で強い国へと声高にいうが、「傍観者」だ、と断じる▼「当事者」のゼレンスキー大統領は日本国民への演説のなかで「核武装や軍事力強化を」と言っていない。「このような戦争を予防できる国際機関を、日本が中心となって運営してほしい」というのも感動した▼「ウクライナ兵士の勇気に感動した」といった日本の国会議長は「傍観者」か？「二度と戦争しない」という記憶を当事者として忘れないよう、国や政府にも求めて憲法を定めたいはず▼核兵器についても同じで、ある哲学者の言葉を引き「過去を記憶できない者は、その過去を繰り返す運命を背負わされる」と厳しく問いかける▼「あやまちはくりにかえしませぬから」の碑の前で、今一度「当事者」として考えてみよう。(i女の新聞8/10・25参照)の